

天敵に やさしく。

天敵・有用昆虫に対する影響が少ない



ミツバチ



マルハナバチ



ハダニを食べているチリカブリダニ



ハスモンヨトウ



オオタバコガ

害虫に キビシイ!

鱗翅目に優れた殺虫活性

- ハスモンヨトウ、オオタバコガの防除に高い効果と優れた残効性
- ミツバチ、マルハナバチだけでなくカブリダニなどの天敵にも影響が少なく体系防除の1剤として最適



イチゴの体系防除に
プレオ® フロアブル



イチゴの体系防除に



特長

- 新しいタイプの殺虫剤
- 鱗翅目害虫に優れた殺虫活性
- 雨に強く、優れた効果が長期間持続
- 天敵・有用昆虫に対する影響が少ない
- 体系防除に最適

有効成分:ピリダリル……10.0% 人畜毒性:普通物



■適用作物・害虫と使用方法

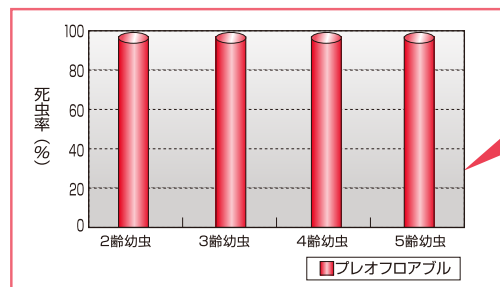
平成19年9月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数及びピリダリルを含む農薬の総使用回数	使用方法
いちご	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	4回以内	散布

●いちごの他にも、キャベツ、だいこん、はくさい、ブロッコリー、レタス、トマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類、なす、ねぎ、だいず、さくに登録があります。

効果と特性

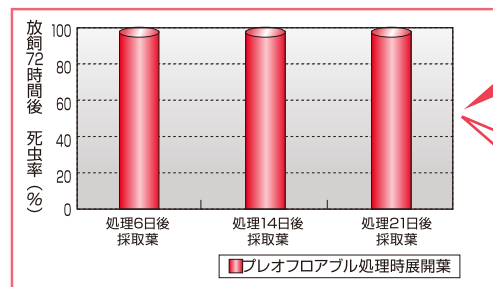
■ハスモンヨトウ 齢期別活性



プレオは幼虫の齢期に関わらず、十分な殺虫活性を示します。

試験方法:キャベツ食葉浸漬試験(10頭/区、3反復)。処理4日後に観察(住友化学2006)

■ハスモンヨトウ 残効性



試験方法:ハウス内栽培のイチゴ(品種:サンチーゴ)に十分量を散布処理。所定日に展開葉を採取しハスモンヨトウ3齢幼虫を放飼(10頭/区、2～3反復)。処理72時間後に観察。植物の生育にあわせて10～14日後に追加散布。(三重県 特連 2004)

薬剤がかかった葉では長期にわたって殺虫効果が期待できます。

《注意》未展開葉での効果は期待できません。処理10日後を目安に他剤との体系防除を実施してください。

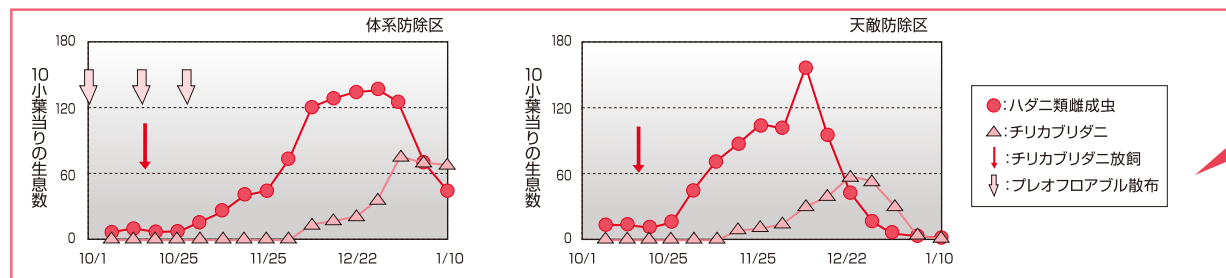
■天敵・受粉昆虫に対する影響一覧

チリカブリダニ(雄成虫)	コレマンアブラバチ	ナナホシテントウ	ミツバチ	マルハナバチ
虫体散布	虫体散布	虫体散布	虫体散布	虫体散布
◎	◎	◎	◎	◎

チリカブリダニ、ミツバチ、マルハナバチなどに併用できます。

■体系防除(チリカブリダニとの併用例)

◎:影響が極めて少ない



カブリダニ放飼の前後3回(7日間隔)にプレオを処理しても無処理区と同様にカンザワハダニの密度を抑制したことから、プレオはチリカブリダニに対する悪影響は極めて少ないと言えます。(三重県 特連 2004)

カブリダニの活動への悪影響は極めて少なく、カブリダニ放飼によるハダニ防除にも安心して使えます。

【使用上の注意】

- 使用前によく振ってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 散布液調製後は、そのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 浸透移行性に乏しいので、かけムラのないように丁寧に散布してください。

【蚕毒については次のことをお守りください】



- ・桑葉にかからないように散布する。
- ・桑葉にかかった場合は15日以上経過してから給葉する。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。